



2015年10月の「土と手」プロジェクトでは、信楽の街中に国内外の作家の作品が展示される。

お気に入りの茶碗で 煎茶を味わう豊かさ

沸騰させたお湯を冷ましてゆっくりと煎茶をいれる。あるいは土鍋でご飯を炊いてみる。そして、ひと手間かけたお茶やご飯に合う器を選び、本当の美味しさをじっくり味わう。慌ただしい日常からひととき離れて、ペットボトルのお茶では手に入らない豊かな時間を過ごす。それはとても贅沢なこと。

信楽焼の器はそんなゆったりとした時間によく似合う。ざっくりとした土の風合いと素朴さ、手にしっとりとなじんでほっと心安らぐ感覚は、他の焼物にはない信楽焼ならではの魅力だ。

暮らしの中に 滋賀の 風

Shiga-nized Life
Scene

3

色も技法も百花繚乱 信楽焼で豊かな時間を

信楽らしい土の味に 悠久の時を思う

信楽焼の土は約300万年前の古琵琶湖層から採られたもの。長い時間を経て琵琶湖の恵みが器に結実したと思うとより愛おしい。現在ではさまざまな色の釉薬が使われ、大きさも食器から建築タイルまで驚くほど多種多様。お気に入りの器を探しに、信楽の窯元を訪ねてみるのもいい。小道に沿って工房やギャラリー、登り窯が点在する窯元散策路をたどれば、一日たっぷり楽しめる。



窯元散策路は、途中に登り窯やギャラリーもある風情たっぷりの小道(窯場坂付近)。

イベントで盛り上がる 秋の信楽へ器探しの旅

今年10月には、滋賀県立陶芸の森と窯元、若手陶芸家を中心になって結成された信楽まちづくり「Lab」が、信楽の街を会場に「土と手」プロジェクトを開催する。国内外のアーティスト10人による陶芸作品の展示や、信楽で採れた米を昔ながらのかまどと信楽焼の羽釜を使って炊きあげ、持参したマイ茶碗で味わう「おくと飯」などのイベントが行われる。下記の日程をチェックして出かけよう。

Information

信楽まちづくりLab
Present

「土と手」プロジェクト

2015年10月17日(土)~25日(日)

●おくと飯(はん)

10月17日(土)・18日(日) 10:30~15:00
会場/窯元散策路内 藤喜陶苑 参加費/無料

●まちなか・やきものアートの遠足!

SHIGARAKI INSPIRATION展
10月17日(土)~25日(日) 10:00~16:00
展示会場/藤喜陶苑・山熊倉庫・川端倉庫

飯茶碗ひとつとっても口縁(こうえん)に青い釉薬を施した黒い焼締(やきしめ)、刷毛(はけ)目に味のある白い粉引、つややかな茶色の胎釉(あめゆう)などさまざま。技法も釉薬も多種多様なものが作られている信楽焼だから、器探しも楽しい。

